

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組

平成22年度第1回経営協議会（平成22年6月9日）

- 中期計画達成までのロードマップを策定し、年度ごとにきちんとしたアクションプランを作成する必要があるという意見があった。
- ・ 本意見を踏まえ、年度計画の進捗状況調査（中間調査）を実施し、中間時にける実施状況の把握に努めた。

平成22年度第2回経営協議会（平成22年11月18日）

- 大学の持つ潜在的な能力とは、過去の実績が評価され、将来への期待が形となって現れてくるもので、それらを示す資料があればよい。さらに、大学が教育、研究、社会活動として何を行っているかを社会に向けてアピールしていくことが必要であるとの意見があった。
- ・ 本意見を踏まえ、大学の活動をステークホルダーごとに説明した財務レポートを作成した。

平成22年度第1回経営協議会懇談会（平成23年1月19日）

- 国際戦略について、語学教育は社会で活躍できる準備として、大学でしっかりやってもらいたい。また、異文化の中で、多種多様な人とのコミュニケーションが必要となることから、英語以外の語学ができると活躍の場が広がるのではないかと意見があった。
- ・ 本意見を踏まえ、英語による教育を充実させることと、日本語を始め英語以外の語学教育の充実について検討することを含めた、埼玉大学国際戦略を策定した。